

事務事業名	家具転倒防止対策事業	整理番号	25201-020
所 管	防災対策室 防災スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 17年度 ~ 平成 19年度	根拠法令・要綱等	御殿場市家庭内家具固定等推進事業実施要綱
基本計画における位置付け	基本政策 2-5 防災体制の充実 政策 2-5-1 災害に強いまちづくり	関連政策	2-5-2 地震対策の推進

事務事業の内容

目的 (何のために)	過去の震災において、住宅内の家具等の転倒により多くの死傷者がでたことから、家庭内安全対策の一つとして市内の全世帯を対象に家庭内の家具等の固定を推進し、地震による被害の防止や被害を軽減をする。
対象 (誰・何を)	市民
手段 (どのようなやり方で)	テレビ1台・冷蔵庫1台を含む最高5台までの家具の固定を実施する。 申請者負担額あり。(高齢者世帯等の負担額は、固定作業費の10分の1。固定作業に使用する金具等は、市が支給する。)
成果 (どのような状態にしたいか)	家具転倒防止事業により、家具の転倒による被害を防止・軽減することにより、死亡者・負傷者を軽減する。
事務事業の背景・住民の意向	東海地震・神奈川県西部地震の切迫性や、阪神淡路大震災や新潟県中越地震における住民の関心が高まり、家具を固定することへの必要性が求められている。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		
平成17年度	実施件数・・・260件(一般 154件・高齢者等 106件)	
平成18年度	実施件数・・・203件(一般 26件・高齢者等 177件)	

評価指標

--	--	--

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント		今後の方向性						
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">観点別評価</td> <td>必要性</td> <td rowspan="3">家具転倒防止対策の必要性をさらに広報し、地震対策の一つとして一番身近な効率の良い防災対策であるが事業は今年度で終了予定である。今後は市民ニーズの動向を見て継続するか検討していきたい。</td> <td rowspan="3">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性	家具転倒防止対策の必要性をさらに広報し、地震対策の一つとして一番身近な効率の良い防災対策であるが事業は今年度で終了予定である。今後は市民ニーズの動向を見て継続するか検討していきたい。	今後の方向性	有効性	効率性	一次評価	B	継続
観点別評価		必要性			家具転倒防止対策の必要性をさらに広報し、地震対策の一つとして一番身近な効率の良い防災対策であるが事業は今年度で終了予定である。今後は市民ニーズの動向を見て継続するか検討していきたい。	今後の方向性			
		有効性							
	効率性								
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント		今後の方向性						
二次評価	B	市民に広くPRすると共に、高齢者、障害者を重点的に事業の推進を図りたい。	継続						

改革プラン

平成19年度からの対応	年間を通じて申請を受け付けるとともに、福祉部局(民生委員等)との協力推進により、災害時要援護者に対する事業の推進を図るとともに、広報等を通じての事業のPRに努める。
平成20年度以降の対応	平成17年度から平成19年度までの、3ヶ年の事業としているが、市民のニーズなどから、以後も延長実施する可能性あり。
改革により予想される成果	家具の固定による人的被害の軽減を図り、自分自身や家族の命を守ることの重要性を認識することにより、災害への対応力が向上する。